

平成20年10月3省合同審議会

既存化学物質審査物質  
(人健康影響・生態影響)  
に係る分解性・蓄積性データ

既存化学物質安全性点検データ

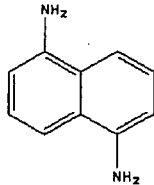
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
1,5-ジアミノナフタレン	平成元年12月28日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	2243-62-1
点検対象物質名称	1,5-ジアミノナフタレン
官報公示整理番号	官報公示名称
4-323	1,5-ジアミノナフタリン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0%		3%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
31.5mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	3.8

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	200µg/L	<0.4 ~ 1.5
第2濃度区	20µg/L	<4.5

総合検索システムへ  
2243-62-1

[前画面に戻る](#)

## 既存化学物質安全性点検データ

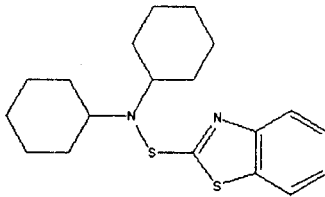
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
N, N-ジシクロヘキシル-1, 3-ベンゾチアゾール-2-スルフェンアミド [官報公示整理番号: 5-256] [CAS番号: 4979-32-2]	平成17年12月22日	難分解性かつ高濃縮性であると判断される物質

## 物質情報

構造式



CAS番号	4979-32-2
点検対象物質名称	N, N-ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾリルスルフェンアミド
官報公示整理番号	官報公示名称
5-256	N-モノ又はジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾリルスルフェンアミド

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0, 0, 0 (0%)		4, 6, 0 (3%)

## 濃縮性

判定	高濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
>130mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	8週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1000µg/L	15 ~ 80
第2濃度区	100µg/L	74 ~ 316
第3濃度区	10µg/L	331 ~ 916

備考

・第1濃度区は10週間で試験を終了した。 【脂質含有量】 第1, 2濃度区 3.9% 第3濃度区 4.0%
--

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1µg/L	1150 ~ 3950
第2濃度区	0.1µg/L	3380 ~ 7310

備考

[脂質含有量] 第1濃度区 4.0% 第2濃度区 3.7%
-------------------------------------

濃縮性2

判定	高濃縮性
試験方法	濃縮度試験

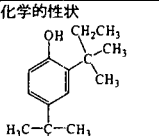
LC50値(96hr)	魚種
>250mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	42日間	コイ	2.58	2.1

	濃度設定	濃縮倍率(BCF <sub>SS</sub> )
第1濃度区	0.01µg/L	6000

総合検索システムへ  
4979-32-2

[前画面に戻る](#)

整理番号 K-1759 (NEDO 334, 3-0526)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																				
2,4-ジ-tert-ペンチルフェノール (120-95-6)	事業対象年度 平成17年度	契約年月日	契約年月日																				
	試験期間 17. 7. 11~17.11. 7	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																				
	試験装置 ②・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮																				
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C <sub>16</sub> H <sub>26</sub> O 分子量 234.38	試験濃度	試験濃度	試験濃度																				
	被験物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L																				
純度 ①98.4%*1 ②99.7%*2	試験結果 間接 BOD -7, -6, -6 (0%) 直接 HPLC 4, 2, 4 (3%)	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接																				
不純物(物質名, 含有率) ①不明 1.6%*1 ②残り 0.3%は不明*2	溶解度(対水, その他) 対水 4.59 mg/L(25℃) (フラスコ法) 5.45 mg/L(20℃) (カラム溶出法) 対テトラヒドロフラン 10 g/L以上																						
融点 26.2℃	審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																				
沸点 291.5℃	判定 難分解性	判定	判定																				
蒸気圧 9.49×10 <sup>3</sup> Pa(25℃)	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 94.4% (汚泥+被験物質)系 95.2% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・被験物質残留率(%) <table border="1" data-bbox="909 828 1133 929"> <tr> <th></th> <th>試験液</th> <th>ソーダ石灰</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>水系</td> <td>84</td> <td>0</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>汚泥系-1</td> <td>96</td> <td>1</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>-2</td> <td>98</td> <td>0</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>-3</td> <td>96</td> <td>1</td> <td>97</td> </tr> </table>		試験液	ソーダ石灰	合計	水系	84	0	84	汚泥系-1	96	1	97	-2	98	0	98	-3	96	1	97	備考
			試験液	ソーダ石灰	合計																		
水系	84	0	84																				
汚泥系-1	96	1	97																				
-2	98	0	98																				
-3	96	1	97																				
比重*3 d <sub>4</sub> <sup>20</sup> 0.930																							
LD <sub>50</sub> *5 330 mg/kg(oral, rat)	加水分解性 pH4, 7, 9 加水分解性なし																						
IRチャートの有無 ②・無	解離定数 pKa = 11.86 (20℃) (分光光度法)																						
用途*5 添加剤(樹脂用・油用)、その他(電子材料等製品用)																							
生産量*5 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t未滿																							
試料 購入先 ①ACROS ORGANICS ②東京化成工業																							
経済産業公報発表年月日 年 月 日																							

\*1 ACROS ORGANICS 添付資料による。 \*2 東京化成工業添付資料による。 \*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。  
 \*4 溶離液: メタノール/りん酸緩衝液(pH3.0)(3/1 v/v) \*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。 ①分解度試験 ②分配係数試験及び濃縮度試験

濃縮度試験	事業対象年度 平成19年度	濃縮度試験	年月日	毒性試験 年月日		
試験期間	19. 5. 11 ~ 19. 9. 10	試験期間	~			
試験装置 ②・揮	LC50値 0.964mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)	試験装置 標・揮	LC50値 mg/L( hr)魚種( )	経過		
水槽設定濃度 (μg/L)		水槽設定濃度 ( )				
	被験物質	分散剤				
	HCO-40	N,N-ジメチルホルムアミド				
第1濃度区	5	25	20000			
第2濃度区	0.5	2.5	20000			
第3濃度区						
濃縮倍率	脂質含有率 開始前 4.51% 終了後 4.26%	脂質含有率 開始前 % 終了後 %	魚種(コイ) % 魚種( )			
	12日後	25日後	39日後	50日後	60日後	
第1	水質濃度(μg/L)	4.42	4.36	4.32	4.83	5.10
	倍率	220	330	420	360	310
		220	340	450	330	340
第2	水質濃度(μg/L)	0.454	0.460	0.421	0.454	0.473
	倍率	320	320	310	410	340
		260	220	320	320	270
第3	水質濃度( )					
	倍率					
審査部会 第70回	19年 12月 21日 開催	審査部会 第 回	年 月 日 開催			
判定結果		判定結果				
備考	[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 350倍 第2濃度区 330倍					
	[回収率]	[定量下限濃度]				
	試験水 89.0%	試験水 第1濃度区 0.30 μg/L 第2濃度区 0.030 μg/L				
	供試魚 79.0%	供試魚 17 ng/g				
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構						

## 既存化学物質安全性点検データ

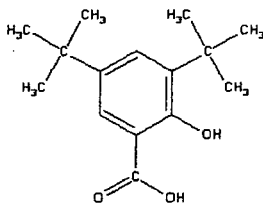
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシ安息香酸 [官報公示整理番号:3-3034] [CAS番号:19715-19-6]	平成15年10月14日	難分解性と判断される物質
3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシ安息香酸 [官報公示整理番号:3-3034] [CAS番号:19715-19-6]	平成17年12月22日	難分解性であるが高濃縮性ではないと判断される物質

## 物質情報

構造式



CAS番号	19715-19-6
点検対象物質名称	3,5-ジ-tert-ブチルサリチル酸
官報公示整理番号	官報公示名称
3-3034	3,5-ジ-tert-ブチルサリチル酸

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD
	0, 0, 0 (0%)

直接測定	HPLC
	0, 2, 0 (1%)

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)	魚種
5.82mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	28日間	コイ	3.38	3.02

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	50µg/L	<= 2.4 ~ 4.1
第2濃度区	5µg/L	<= 23

既存化学物質安全性点検データ

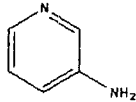
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
3-アミノピリジン	昭和57年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	462-08-8
点検対象物質名称	3-アミノピリジン

官報公示整理番号	官報公示名称
5-725	3-アミノピリジン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	0%		1%	0%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
8.1ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	5.7

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	200ppb	<0.2
第2濃度区	20ppb	<2.1

総合検索システムへ  
462-08-8

[前画面に戻る](#)